

# 「かがやいている子」をめざして

自分に自信をもち、めあてや願いをもって挑戦していくことを大切にします。

## 携帯・スマホ安心・安全教室

12月8日、神奈川県警少年相談保護センターの和田さんとスクールサポーター北村さんをお招きし、5時間目に5・6年生が携帯やパソコン・スマートフォンを使う場合の危険性や使う上での大切なことをお話いただきました。

6時間目には、PTAの成人保健委員会主催の保護者向け講演会を開催いたしました。

### 子どもたちの感想

- 自分は周りに流されることがとても多いから、自分でちゃんとストップがかけられるようにしたいと思った。もし、スマホを買う時が来たら、今日教えてもらったことに気をつけて、使おうと思った。
- 私は将来、インターネットを使う時に「判断力」と「責任感」が大切だと思った。
- スマホを使って1年がたちますが、大事なことや決まりを忘れてしまっている可能性があるので、気を付けたいと思いました。メールなど簡単にやり取りできますが、ほんのちょっとの気持ちで傷つく言葉をのせないようにしようと思いました。
- 今まで何も考えないでパソコン（インターネット）を使っていました。パソコンやスマホ、携帯で犯罪が起きることは知っていたけれど、「自分は大丈夫だろう」と思って気にしませんでした。でも普段の生活から、犯罪に巻き込まれる、または犯罪をおかしてしまうことがあることまで考えたことがなかったので、この時間で知ることができました。
- 一番心に残ったことは、スマホなどはあくまで道具であって、正しく使えば生活を豊かにしてくれて、使い方を誤れば、人を傷つけるということでした。
- スマホや携帯でしたことが、「こんなに重い罪になるの？」と思って驚いた。

### 参加した保護者の方の感想

- 本当にあった事件の例を取り上げて、「何がいけないのか」「どういう罪になるのか」を話してくださったので、子どもたちにはよくわかったと思います。親が注意してもうまく説明できないこともあり、反発もするので、詳しい説明で子どもたちも納得できたと思います。
- いろいろと家庭内で取り組まなくてはならないとわかっていながら、方法が分からなかったのも、フィルタリングのこと、家族会議の進め方、参考になりました。
- まだ、子どもにはスマホは持たせていませんが、持つときにはしっかり話し合い、お互いが納得した上で使用したいと思いました。
- 親の想像を超える勢いで情報が入手でき、とても怖い世の中になったなあと思っています。親も何らかの手段で、その内容をキャッチし、善悪の判断など家庭で話せればと思います。

今年度、初めて携帯・スマホ安心・安全教室を実施しました。子ども、家庭、学校がそれぞれ考えるよいきっかけになったことが感想からも伝わってきます。

これで終わりではなく、今後も「判断力」「責任感」を養えるように、学校、家庭、地域で協力して子どもたちの健全な育成に努めていきたいと思っています。

